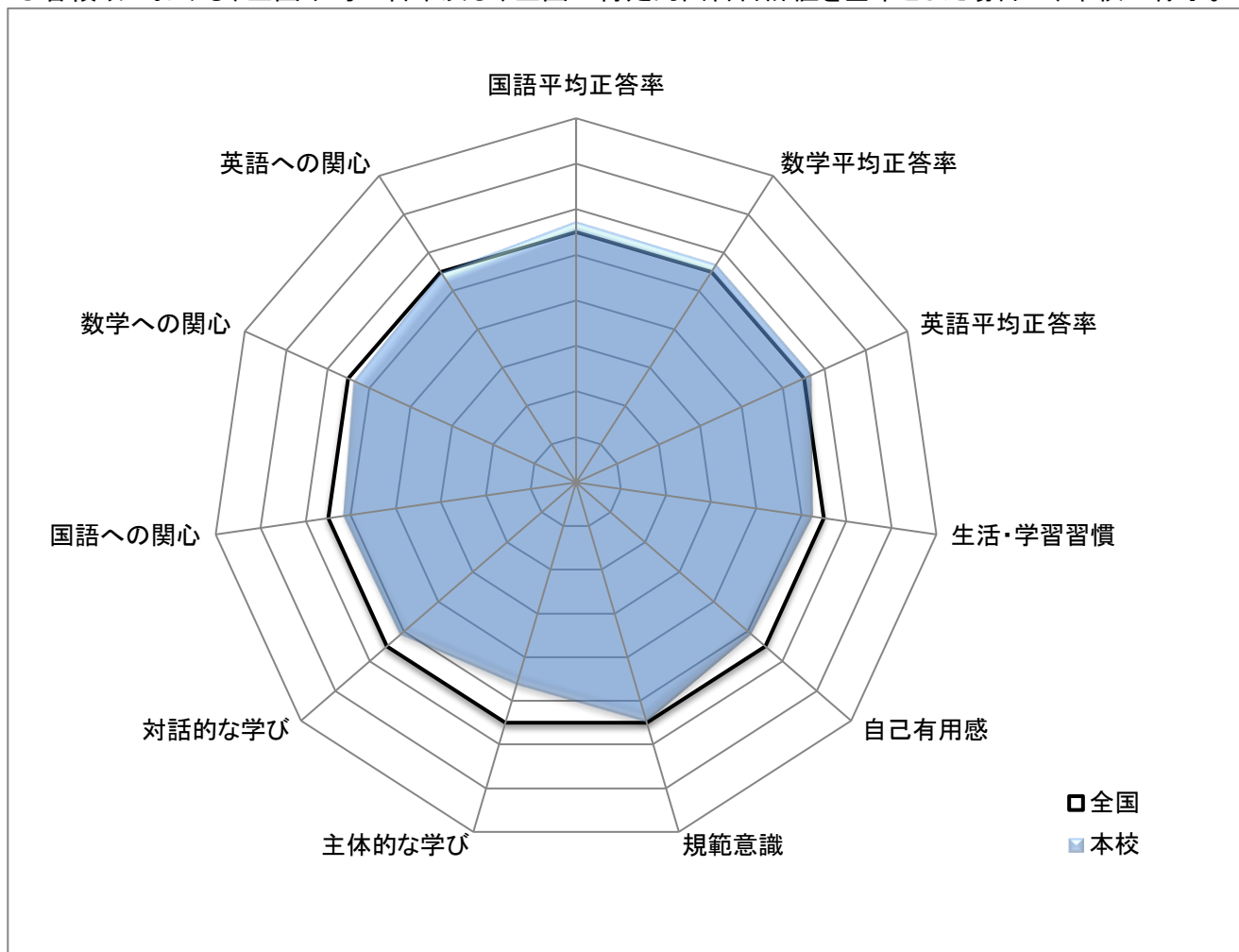


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

高い規範意識を持ち、学習に取り組んでいる。真面目に授業に取り組んでいるが、どちらかというと、受け身の授業態度であり、さらに上を目指して努力をしていこうという向上心が少ない生徒が多い。高い目標と意欲をもって学習に取り組むことができれば、さらに力をつけることができると考える。

《授業改善のポイント》

どの教科も基礎的な内容については理解できているが、難易度が高くなると学習についていけない生徒が急に増えてしまっている。普段から少し難しい問題にもチャレンジさせる授業を展開していく必要がある。特に、数学は習熟度別少人数授業に取り組んでいるので、上位のクラスでは積極的に難易度の高い問題にも挑戦させ、自信をつけていきたい。また、国語や英語は「アクティブ・ラーニング」を取り入れ、言語活動を盛んにしているが、成果が十分に表れていないので、さらに意識を高めて指導していきたい。

《チャートの特徴》

正答率については、国語、数学、英語ともに全国平均を上回っている。また、規範意識についても全国平均と同じ値になっている。しかし、主体的な学び、対話的な学び、自己有用感といった項目が、全国平均に比べて大きく下回っている。良い学習成績の結果に比べて、気持ちの部分で前向きに学習に取り組めていないという結果が出ていることが気になる。

《家庭・地域への働きかけ》

学校に対して保護者は協力的であり、学校行事にも多くの保護者が参加している。家庭に対しては、毎週発行される学年便りや、クラスによっては学級通信で学校の様子を随時伝えているところである。